

求人情報満載

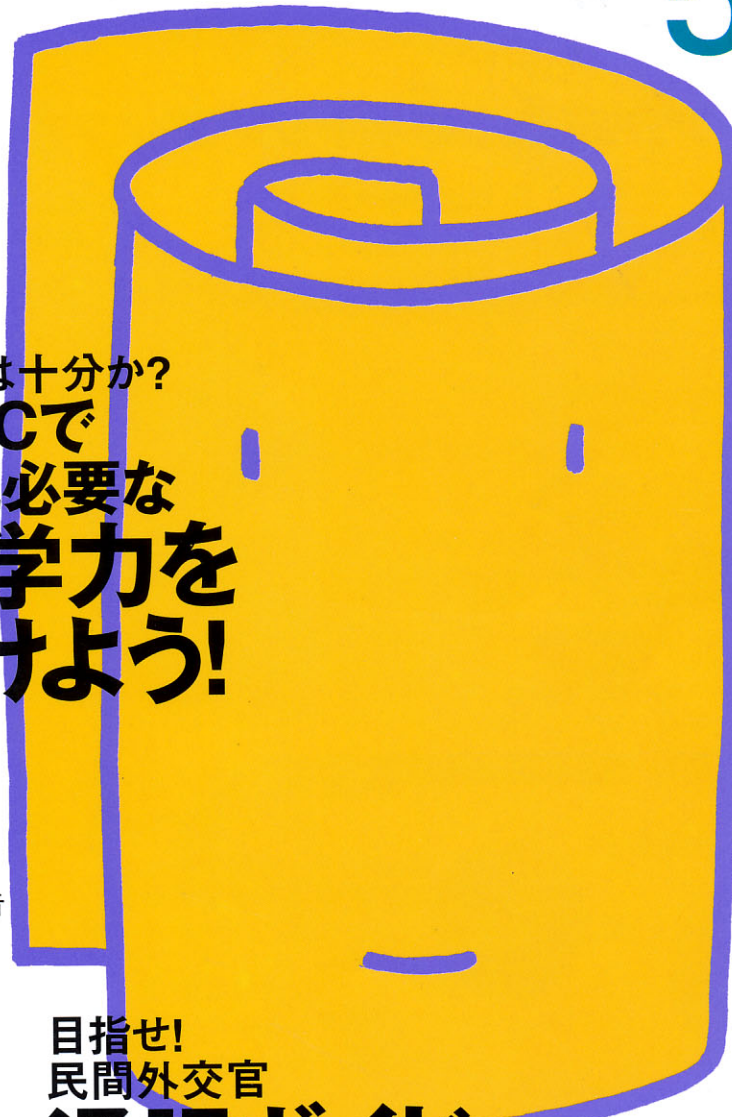
通訳・翻訳のことがよくわかる本

通・訳・翻・訳

2000 MAY

5

通訳



あなたの語学力は十分か?
英検・TOEICで
通訳・翻訳に必要な
基礎語学力を
身につけよう!

- まずは試験を知って、そして攻める
- 現役学習者がナビゲートする
「私たちはこうして1級・TOEIC900点を突破した!」
- プロの英検・TOEIC指導者が語る **秘** 攻略法

目指せ! 民間外交官 通訳ガイド 特集

- イラストで綴る通訳ガイド日記
- プロになるための基礎情報
- プロの **秘** 小道具
- 仕事場探訪
- 通訳ガイド研修密着取材
- 〈明解〉通訳案内業国家試験試験の全容を紹介

第6回DHC翻訳
新人賞課題文掲載

通訳者が訳した本
「ハリー・ポッターと賢者の石」が
ベストセラーに!
SPECIAL INTERVIEW
会議通訳者
松岡佑子さん

通訳ガイド新人研修って
いったい何を
やるんだろう？

取材／金田修宏
撮影／小久保陽一

通訳ガイド 実地研修密着レポート

プロの通訳ガイドになるには、通訳案内業国家試験に合格した後、各研修機関が実施する新人研修を受講して実地を体験し、旅行会社などに就職活動をして登録して仕事をもらう。ここでは、プロになる第一段階の新人ガイド研修をレポートする。今回密着取材したのはハロー通訳アカデミー主催の通訳ガイド実務研修会。現役の第一線で活躍するベテラン通訳ガイドの指導のもと、添乗業務から個々の観光スポットでのガイドング技術まで、通訳ガイド業務の基本を学ぶ。この研修は5日間連続のプログラムであるが、内1日は実際にバスで観光コースをまわる実地研修があり、研修生は、期待と不安を胸に初の現場ガイドングに臨む。

指導するのは2人のベテラン通訳ガイド



ランデル洋子さん



勝井まりさん

8:30AM 京王プラザホテルロビー



京王プラザホテルのロビーに集合した研修生たち。チップの支払いや清算の確認など、チェックアウト時の作業手順の説明を受ける。こうした実務も通訳ガイドには重要な仕事。人数よし、忘れ物なし。すべての確認を終えたら、いざ出発！

8:40AM バス新宿から出発



バスは最初の目的地である明治神宮へ。車内では講師の勝井まり先生が東京観光のガイドを実演。自己紹介や観光ルートの説明を終えると、鳥居の絵を取りだして話題は神道に。そして明治維新から明治神宮建立までを簡潔に説明していく。

9:15AM 明治神宮到着



明治神宮到着。二ノ鳥居、祭務所、本殿などの要所で研修生が持ち回りでガイドングを実演する。「手水や拝礼は実際にお客様にやってもらう」「結婚式や七五三の説明は必ず聞かれるので準備しておく」など先生から早速アドバイス。

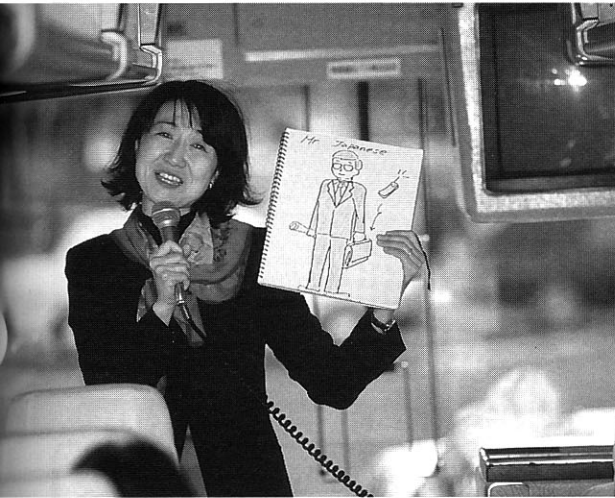


研修生の必死のガイドングに講師の優しい目が注かれる。



講師の解説を一言も漏らすまいとメモを取る。研修生の真剣さが伝わってくる。

10:15AM 明治神宮から出発



明治神宮をあとにし、バスは浅草寺へ向かう。神宮外苑から永田町、皇居、東京駅前、日本橋、神田、秋葉原、上野を通過するこのルートでは、皇室・政治・ビジネス・古本街・電気街など話題は豊富。ガイドの腕の見せ所だ。勝井先生は東京駅を通過したあたりでイラストを手に、典型的な日本のサラリーマンについて話し始める。

Seminar Programs in Tokyo

1日目……ツアービジネスの基本、旅行会社との打ち合わせの基本、空港・ホテルトランスファー、東京都内観光（明治神宮・浅草・皇居前）のガイドングの基本など。

2日目……トランスファーの復習、日光のガイドングの基本、ナイトツアー（ディナーショー、ナイトクラブなど）の基本、一般トピックス（衣食住、宗教、スポーツなど）、都内観光発表など。

3日目……一般トピックス発表、ツアーデスク業務（チェックイン・チェックアウトやオプションツアーの販売、クレーム処理など）、異文化コミュニケーションと外国人接客マナーなど。

4日目……バス実地研修。明治神宮・浅草でのガイドング実習（バス内で講師によるモデルガイドング）。成田空港見学（空港での送迎、添乗業務の基本）

5日目……鎌倉・箱根ガイドング、一般トピックス補足、質疑応答、打ち上げパーティー

通訳ガイド研修会 ハロー通訳アカデミー主催

ハロー通訳アカデミー主催の通訳ガイド研修会は、通訳案内業国家試験合格者を対象とし、東京と大阪の2地区、それぞれ全5日間の日程で実施される。全日程中4日間は教室での座学であり、オリジナルテキストをもとにビデオやOHPなどを使いながら、午前中は講義、午後は実習（発表）中心の授業を行う。残る1日の実地研修では、東京都内観光コースをバスでめぐり、成田空港までを往復する（大阪地区は京都・奈良観光めぐり。関西新空港の現地研修は別の日に実施）。

この研修会の特徴は、“教える”ことに最大のポイントを置いている点（公の団体が実施する研修会では、観光スポットをまわることがメイン）。座学に時間をかけ、実際に現地でガイドングをさせるのもそのため。トップクラスの通訳ガイドである講師から受ける直接指導は、大きな財産となることだろう。

11:10AM 浅草寺到着



浅草寺雷門前到着。明治神宮とはちがい、あたりが騒々しいので声を張り上げなければならない。研修生の1人が披露した雷神・風神・赤提灯のユーモアまじりの説明に皆が和む。先生からは「集合場所がこの雷門前か二天門側になるのか、しっかり伝えて下さい」との注意が。

0:30PM 銀座到着



ランチタイムにホッとひと息。ここは実際の外国人観光ルートにも入っている串揚げ店で、外国人客が大変人気がある。「シーズニングがいろいろあるので、すべて説明できるように」と先生。ソースにケチャップ、塩にボン酢……どれも「美味しい!!」で済まされるのは今日だけ。この店に限らず、駐車スペースのない繁華街で食事をするときには、バスの運転手の携帯番号を事前に聞いておき、駐車場所を確認できるようにしておかなければならない。



0:10PM 浅草寺から出発

浅草寺のハイライトともいべき香炉前にて。ほかの観光客の邪魔にならず、かつ全員が香炉を見られる場所を確保するのはひと苦労だ。煙を体にふりかける意味を説明したら、実際にやってもらおうのがベスト。「このときに『みなさん賢くなりましたね。集合場所と時間を間違えないでね』とさりげなく注意するの一手です」と勝井先生。宝蔵門、五重塔、本殿と見所は数あれど、仲見世の魅力に外国人観光客は屈してしまうらしい。

1:40PM 銀座から出発



昼食を済ませた一行は、一路成田空港へ。レインボーブリッジ、お台場、東京ビッグサイト、葛西臨海公園など、車窓を流れゆく絶好のロケーションすべてがガイドの対象となる。午後の研修は車中での即興マイクパフォーマンス。この突発的な課題にもかかわらず、研修生はみな持ち前のサービス精神を発揮して、自己紹介や歌など様々に披露。先生からは「笑顔を絶やさない」「顔を動かすときはマイクもいっしょに」「お客さんとのアイコンタクトは忘れずに」「安全のため、空いている手でどこかをつかんでおく」などの細かいアドバイス。

しっかりした自己コントロールがプロには必要です

通訳ガイド研修会主任講師

ランデル洋子先生

1951年生まれ。南山大学英語学英文科卒業。1973年に通訳案内業免許取得。通訳ガイド、通訳、研修講師などで幅広く活躍。運輸省補助事業国際観光サービス研修のメイン講師も務める。『英語を使って輝きたい』『英語を使ってボランティアしたい』（共にダイヤモンド社）など著書多数。

この研修は、先輩がいろいろ教えてくれる唯一の場です。通訳ガイドという仕事は完全独立業務なので、プロになってしまえば、何かを教えてくれる先生も、

あれこれ指示してくれる上司もいません。準備段階でどの程度まで形にできるか。これからは一人のプロとして、その能力が問われることになります。完全独立業ということは、自分の代わりになってくれる人間もいません。事前に準備をしっかりしておき、体調面にも気を使う。つまり自己コントロールできるかが、いちばん大切なんですね。文化や生活環境の異なる人々を一度に楽しませなければいけないので、精神的に大人であることも大事です。たとえば、1000円のランチを高いと感じる人もいれば安いと感じる人もいます。アジアではその金額が日

当に値することもありますが、裕福な方は逆に安すぎると気分を害するかもしれません。どのレベルが求められているのか、お客様の立場になって考えられる広い心が必要なのです。

通訳ガイドの仕事をしていくなかで、つらいこともあると思います。私はそんなとき「苦しいときは上り坂」と考えるようにしています。つらいのはワンランク上をめざしているから。だから楽になったとき、自分のレベルがひとつ上がったはず。向上心を持って、いくつもの“つらい坂”を越えていってください。

2:45PM 成田空港着



成田空港第1ターミナルでは、出発と到着の際のガイドの仕事が細かに解説される。出発時はエアラインのカウンターにチェックインし、出国審査入口までお客様を誘導するのがガイドの役目。出発便の時間を確認し、出発の1時間前には中に入ってもらおうようにする。荷物の確認も忘れずに。



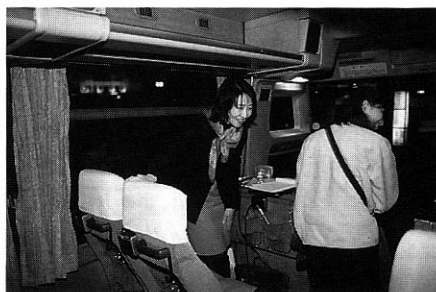
到着口の前、出迎えるときには到着時間を確認し、ポーターやバスの運転手と行き違いのないよう、しっかりと連絡をとっておく必要がある。個人のお客様の場合「エミットすることもしばしばなので気をつけて」と先生。またJALの発着は第2ターミナルになるので要注意。間違えてしまったときには、第1と第2を結ぶシャトルバスを利用するのがベストとのこと。

4:20PM 成田空港第2ターミナル出発



東京駅への道中は、ホテルトランスファーを想定しての研修生によるガイドング。おもなポイントは、「長旅で疲れ気味のお客様にはどんな話題がいいのかわかるか」、「伝えたいトピックを簡潔にまとめるにはどうしたらよいか」のふたつ。

5:25PM 東京到着



東京駅日本橋口到着。勝井先生が研修生一人一人にねぎらいの声をかけていく。最後まで表情豊かに明るく話していた先生の姿からも、学ぶことは多かつたに違いない。こうして実地研修も無事終了。みなさん、おつかれさまでした！

文化の橋渡し役になれば最高です

研修生

金順愛 (キム・スネ) さん



ハロー通訳アカデミーの3次試験直前対策セミナーを受講したとき、懇切丁寧に指導していただいたので、不得手だった日本文化語の知識をしっかりと吸収することができました。3次試験を突破できたのもその指導のおかげだと思い、今回も期待してこの研修会に参加しました。

この研修会の良さは、通訳ガイドという仕事の奥深さ、すばらしい世界だということを教えて頂いたこと。さらに非常に細かい指導をしてもらえるところ。ミスの対処法や教科書だけではわからない現場からのアドバイスなど、親切にしかも無駄なく教えてくれます。通訳ガイドは一匹狼が

多いと聞いていましたが、先生方が現場で培ったものを惜しげもなく披露してくれるのがうれしいですね。このあと、大阪地区の研修会にも参加する予定です。

私は朝鮮語で合格したので、朝鮮と日本との文化の橋渡し役になればと思っています。通訳をすると、北朝鮮の方からは「南よりの朝鮮語」、韓国の方からは「北よりの朝鮮語」だとよくいわれます。でも、そんなときは「私の朝鮮語は自分流です」と答えることにしています。私のことばで、日本や北や南という枠を越えてお互いに身近になれば最高ですね。